

# 大都市大震災軽減化特別プロジェクト 総括シンポジウム

日時：平成18年12月21日(木)・22日(金) 9:30～16:30

場所：東京国際フォーラム (D5 ホール、G502, G510, G602 会議室)

<http://www.t-i-forum.co.jp/function/map/index.html>

明治安田生命ビル丸の内 MY PLAZA (21日のみ)

[http://www.myplaza.jp/05\\_other/access.html](http://www.myplaza.jp/05_other/access.html)



主催：文部科学省・防災科学技術研究所・東京大学地震研究所・京都大学防災研究所・国際レスキューシステム研究機構  
後援：東京駅周辺防災隣組

| 東京国際フォーラム              |                                           | サテライト会場<br>明治安田生命<br>丸の内 MY-PLAZA                                                       |                                                               |
|------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| D5 ホール                 | G502 会議室                                  | G510 会議室                                                                                | G602 会議室                                                      |
| 12/21(木)<br>9:30～9:45  | 開会挨拶                                      |                                                                                         |                                                               |
| 10:00～12:30            | 「震動台シミュレーション」「地震動データベース」等<br>鉄筋コンクリート建物実験 | 震災総合シミュレーションシステムの開発<br>耐震研究の地震防災対策への反映<br>ー 1. 事前対策 ー                                   | レスキューロボット<br>デモンストレーション<br>1回目 12:00～13:30<br>2回目 15:30～17:00 |
| 13:30～16:30            | 木造建物実験<br>地盤・基礎実験                         | 大都市特性を反映する<br>先端的な災害シミュレーション技術の開発<br>震災総合シミュレーションシステムほか(ポスター<br>展示・実演)<br>(14:00～16:30) |                                                               |
| 12/22(金)<br>9:30～12:00 | 大深度弾性波探査                                  | 巨大地震・津波による太平洋沿岸巨大連担都市圏の総合的対応シミュレーションとその活用手法の開発(1)<br>耐震研究の地震防災対策への反映<br>ー 2. 災害情報 ー     | レスキューロボット等次世代防災基盤技術の開発(1)                                     |
| 13:00～16:00            | 大規模ボーリング調査<br>断層モデル等の構築                   | 巨大地震・津波による太平洋沿岸巨大連担都市圏の総合的対応シミュレーションとその活用手法の開発(2)<br>耐震研究の地震防災対策への反映<br>ー 3. 復旧・復興 ー    | レスキューロボット等次世代防災基盤技術の開発(2)                                     |
| 16:20～16:30            | 閉会挨拶                                      |                                                                                         |                                                               |

※背景図は、深さ0～10kmで発生した地震の震央分布  
(1997年10月1日から2005年12月31日までの気象庁一元化震源リストに基づいて作成)。

I 地震動(強い揺れ)の予測「大都市圏地殻構造調査研究」

II 耐震性の飛躍的向上「震動台活用による耐震性向上研究」

III 被害者救助等の災害対応戦略の最適化「災害対応戦略研究」

IV 耐震研究の地震防災対策への反映「地震防災統合化研究」

文部科学省では、首都圏や京阪神などの大都市圏において、大地震が発生した際の人的・物的被害を大幅に軽減するための科学的・技術基盤を確立することを目的として、平成14年度より5年計画で「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」(通称：大大特)をスタートさせました。本シンポジウムでは、本プロジェクトの主な成果についてご報告し、幅広い意見交換を通じてプロジェクトの成果取りまとめと成果普及のための機会としたいと考えております。

参加申込

ホームページでお申し込みください <http://www.bosai.go.jp/ddt/>

